J. FRONT RETAILING

VEGETABLE OIL INK

2011年度中間期

株主通信

［第5期（中間）］
平成23年3月1日から
平成23年8月31日まで

J.フロント リテイリング株式会社

証券コード：3086

Top Message

「新百貨店モデル」の集大成、増床オープンの大丸梅田店が好調

株主の皆さまには、日ごろより格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

当上半期は、3月に東日本大震災が発生し、非常に厳しいスタートとなりましたが、3月の落ち込みを4月以降でカバーし、震災の影響を最小限にとどめることができました。

業績回復の原動力となっているのは、「新百貨店モデル」の集大成として本年4月19日に増床オープンした大丸梅田店です。大丸梅田店では、増床オープン以来、入店客数は予想を大きく上回って推移しており、4月からの売上高は前年同期比で7割増となっています。

日本経済の先行きは不透明さを増しており、下半期の消費環境は上半期以上に厳しくなる恐れがあります。そのような中、大丸松坂屋百貨店では、競合他店との差別化と収益力の向上を目指した自主編集売場の強化に着手するなど、「新百貨店モデル」確立に向けた経営改革を一層加速させ、将来の成長発展を実現したいと考えています。

皆さまには、一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い申しあげます。

代表取締役会長 兼 最高経営責任者(CEO) 奥田 務　　代表取締役社長 茶村俊一

代表取締役会長
兼 最高経営責任者(CEO)
奥田 務

代表取締役社長
茶村 俊一

当上半期の概況

Point 1 震災の影響を最小限にとどめ、営業利益をほぼ前年度水準に

JFRグループの上半期連結業績は、6月発表の見通しに対し、売上高では0.1%増の微増となりました。利益面ではコスト管理を徹底した結果、営業利益で31.7%増の17億円、経常利益で40.2%増の22億円、純利益で226.0%増の15億円、それぞれ大きく上回ることができました。前年同期比では、売上高は2.4%減の4,554億円、営業利益は1.5%減の72億円、経常利益は6.2%減の77億円、純利益は37.8%減の22億円となっております。純利益の減少は、本年度から適用となりました資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額22億円を特別損失として計上したことなどによるものです。

なお、中間配当につきましては、当初の予定通り3円50銭とさせていただきました。

セグメント別では、主力の百貨店事業は前年同期比2.1%の減収、7.6%の減益となりました。

大丸松坂屋百貨店は、震災が発生した3月には、ほぼ全店で売上が前年同月を大幅に下回りましたが、増床オープンした大丸梅田店をはじめ、大丸札幌店、松坂屋名古屋店などが4月以降好調に推移し、上半期は計7店舗の売上が前年同期を上回りました。全社合計売上も、前年8月に閉店した松坂屋名古屋駅店分を除くと、8月まで5カ月連続で対前年増となりました。また、経費面では、大丸梅田店増床により施設費を中心に20億円の増加となりましたが、大阪地区・首都圏地区での事務部門統合による人件費の削減、店舗・事務所での節電対応の推進など、あらゆる経費の削減に取り組み、販売管理費は、前年同期より26億円削減しました。

スーパーマーケット事業は、3.3%の減収ながら売上総利益率の改善と経費削減により9.8%の増益、卸売事業は12.0%の減収で50.9%の減益となりました。その他事業は、建装事業、カード事業、人材派遣事業が好調で、1.6%の増収、9.8%の増益となっています。

松坂屋名古屋店

Point 2

進化する新百貨店モデル
“集大成”の大丸梅田店、入店客数が大幅増

JFRグループは、百貨店の長期業績低迷の原因を「マーケット対応力の弱さ」「高コスト構造」という構造的課題にあると考え、これらの課題を解決すべく「新百貨店モデル」の確立に取り組んでいます。具体的には、マーケットの変化に対応した「対象顧客層の拡大」「品揃え幅の拡大、特に価格の幅の拡大」「スペシャリティゾーンの開発」「高効率経営体制の実現」などを推進しております。

この「新百貨店モデル」の集大成が、4月に増床オープンした大丸梅田店です。新しく生まれ変わった「大阪ステーションシティ」に位置する好立地の大丸梅田店は、今後の当社百貨店の新フォーマットとすべく、今までにない新しい店づくりに取り組みました。

大丸梅田店

大丸梅田店は増床オープン以降、入店客数が平日10万人以上、土日祝日15万人以上を記録しています。1日平均入店客数は約13万人と、当初予想の約1.5倍に達し、4月から8月の売上高も前年同期比70%増となりました。

また、顧客層の“幅”も大幅に拡大しています。顧客属性の把握が可能な「自社カード顧客」の売上を増床工事の影響がない2009年度と対比しますと、ヤング（18歳～24歳）とアラウンド30（25歳～34歳）のお買上客数は38%増、お買上高は15%増となりました。ヤングに限定すれば、お買上客数、お買上高ともに2倍以上となっています。親子連れや会社帰りの男性の入店客数も伸びており、今まであまり百貨店をご利用されなかった顧客層が増加しています。

今回の大丸梅田店の増床にあたっては、以下のような店づくりに取り組みました。

1 対象顧客層、品揃え幅の拡大

ファッションビルで人気のブランドや、ロードサイド型から発展した紳士服ショップなどを導入し、「百貨店としての」中低価格商品を充実させる一方、欧米スーパーブランドなどの高級・高額商品も拡大しました。さらに、食品売場の面積を1.5倍に拡大し、「デパ地下ならでは」の名産品からデイリーの食品まで、品揃えを格段に充実させ、レストランも拡大強化しています。このように幅広い顧客層に対応し、入店客数の増加を売上の大幅増につなげることに成功しました。

大丸梅田店スペシャリティゾーンの代表例

うふふガールズ

オー・ランジェリーゼ

- うふふガールズ　当社最大5,100㎡で展開
- オー・ランジェリーゼ　関西最大規模の婦人肌着売場
- シンデレラアベニュー　お客様視点で分類方法や見せ方を工夫した婦人靴売場
- ごちそうパラダイス　デパ地下ならではの名産品からデイリーの食品まで幅広く
- 美食区　ランチからディナー、お酒まで“大人の食のキーステーション”レストラン

美食区

シンデレラアベニュー

<ベーシックコーナー>

<トレンドコーナー>

2 「スペシャリティゾーン」の開発・導入

当社で最大規模の「うふふガールズ」、婦人肌着売場「オー・ランジェリーゼ」をはじめ、明確なコンセプトや高い専門性を持った特徴ある編集売場「スペシャリティゾーン」を多数開発・導入しています。

中でも婦人靴を扱う「シンデレラアベニュー」では、徹底した接客で自分の足にぴったりの靴を選べる「ベーシック」と、トータルファッションの一部として気軽に靴を選べる「トレンド」の2コーナーを用意し、お客様の買い方やライフスタイルに合わせ、顧客ニーズに十分対応できる、今までの百貨店にはない売場づくりに挑戦しています。この新しい取り組みにより4月以降5カ月連続で西日本で一番の売上となりました。

3 高効率運営体制の構築

営業部門の組織を「商品別」から「フロア別」に再編し、今までの6部門から3部門に半減しました。また、後方部門を大丸心斎橋店と一本化し、売場面積が1.6倍に増える中でも従来を大幅に下回る人員での運営を可能としました。

今後は、好調な入店客数を維持拡大するとともに、カード会員やメール会員を増やし、固定客化を図ることにより買上率・買上点数・買上単価を伸ばし、さらなる売上の増加につなげていきたいと考えています。また、大丸梅田店で得た成果やノウハウを、来春以降に予定している松坂屋名古屋店はじめ、大丸神戸店、大丸東京店など他店の大規模改装や増床に活用していきます。

Point 3

今後の取り組み

厳しい環境に対応、自主編集売場を強化

日本経済の先行きは不透明感を増しており、2011年度下半期は、震災のあった上半期以上に厳しい経済環境が予想され、特に消費環境は一段と厳しさを増すものと思われることから、通期の連結業績の予想は、売上高9,450億円（前期比0.5%減）、営業利益193億円（前期比5.0%減）、当期純利益76億円（前期比14.2%減）といたしました。

2011年度 連結業績見通し
（2011年9月修正分）

売　上　高：9,450億円（前期比0.5%減）
営 業 利 益：193億円（同5.0%減）
経 常 利 益：195億円（同7.5%減）
当期純利益：76億円（同14.2%減）

大丸松坂屋百貨店は、今後、大丸梅田店を超える新しい売場やスペシャリティゾーンを構築するために、本年9月から本社の商品部門の組織変更を行い、新たに自社で仕入から販売までを行う「自主編集売場」の専門組織、「自主事業統括部」を新設いたしました。

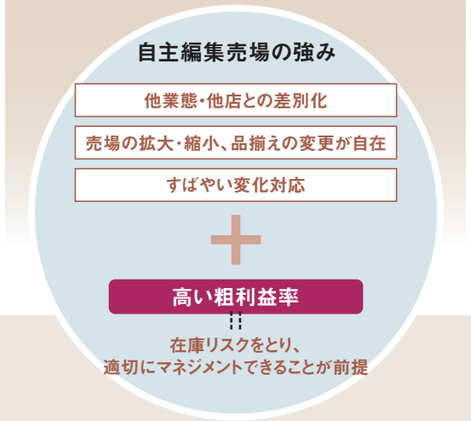
自主編集売場は、百貨店の強みであり他社との差別化を図れる売場です。また、売場の拡大・縮小や品揃えの変更が自由で、マーケットやお客様の変化にすばやく対応できます。収益面でも粗利益率が高いという利点がありますが、その反面、自社で在庫を持つリスクがあることから、マーケットの変化に対応して売場を変える「編集力」、人気商品、高益率商品を確保する「調達力」、仕入れた商品を売り切る「本来のMD力」と「販売力」が不可欠です。

そこで自主事業統括部では、従来仕入と販売が別組織であったのを改め、マーケティングから商品の仕入調達、販売、損益管理に至るまで、全てのプロセスを一貫して計画管理する事業運営型組織としてスタートさせました。

今後は、婦人洋品から紳士洋品まで、百貨店としての高いクオリティを持った商品を幅広く取り揃え、いつも新しい提案のある雑貨を中心とした自主編集ショップの構築に取り組む予定です。

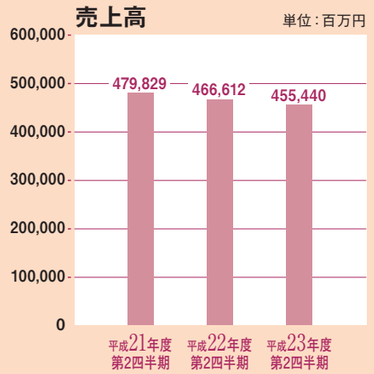
このような取り組みを通じて、JFRグループは、引き続き新百貨店モデルの確立にスピードを上げて取り組み、お客様に新たな価値を提供し続けることにより、具体的な成果を積み上げていきたいと考えています。

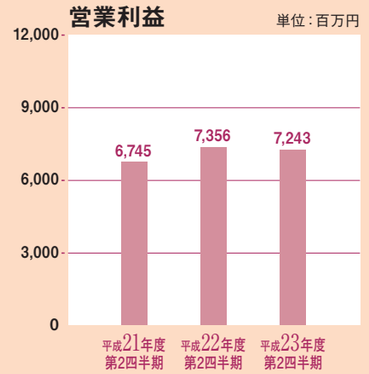
自主編集売場の売上拡大と収益力強化

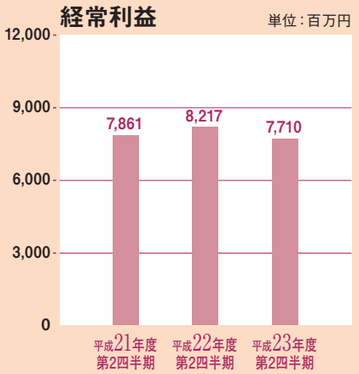


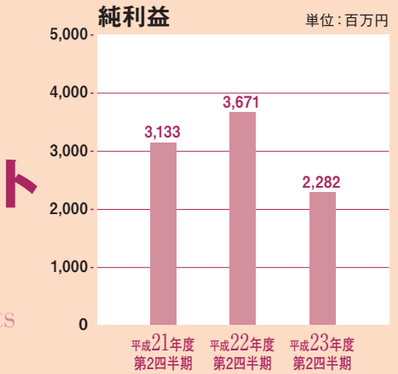
第2四半期（中間期）
財務ハイライト
（連結）

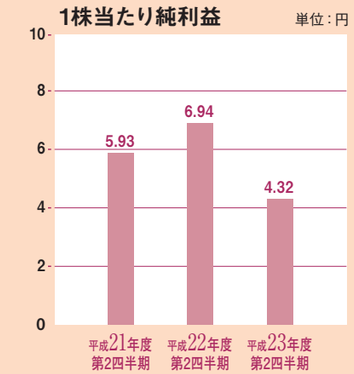
Financial Highlights

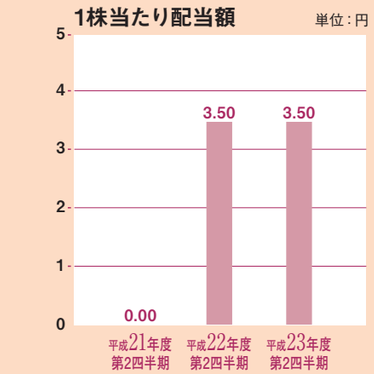


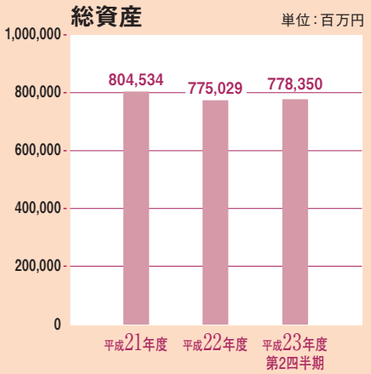


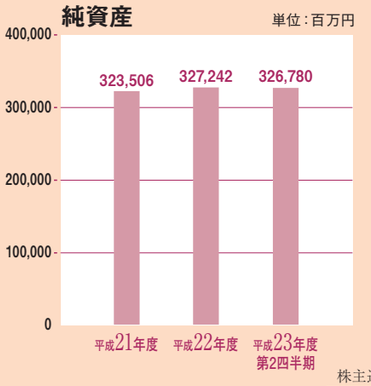












四半期連結財務諸表 -JFR-

連結貸借対照表

（単位:百万円）

科目	当第2四半期連結会計期間末（平成23年8月31日）	前連結会計年度末（平成23年2月28日）
（資産の部）		
流動資産	**147,592**	**158,096**
現金及び預金	28,072	34,087
受取手形及び売掛金	52,765	53,937
有価証券	1,283	1,484
たな卸資産	27,458	30,382
繰延税金資産	12,559	13,020
その他	26,076	25,945
貸倒引当金	△623	△761
固定資産	**630,757**	**616,933**
有形固定資産	**500,092**	**498,678**
建物及び構築物（純額）	139,453	135,763
土地	355,101	354,742
建設仮勘定	2,802	5,634
その他（純額）	2,735	2,537
無形固定資産	**17,974**	**18,466**
その他	17,974	18,466
投資その他の資産	**112,690**	**99,787**
投資有価証券	34,261	26,884
長期貸付金	1,507	1,505
敷金及び保証金	52,555	47,760
繰延税金資産	8,758	7,764
その他	18,597	18,650
貸倒引当金	△2,989	△2,776
資産合計	**778,350**	**775,029**

科目	当第2四半期連結会計期間末（平成23年8月31日）	前連結会計年度末（平成23年2月28日）
（負債の部）		
流動負債	**253,678**	**246,190**
支払手形及び買掛金	74,028	76,310
短期借入金	40,131	43,181
コマーシャル・ペーパー	14,997	—
未払法人税等	1,960	3,296
前受金	17,413	17,463
商品券	41,020	41,727
賞与引当金	6,190	6,352
役員賞与引当金	—	164
販売促進引当金	339	337
商品券等回収損失引当金	9,691	9,179
事業整理損失引当金	1,075	1,666
その他	46,829	46,510
固定負債	**197,891**	**201,596**
長期借入金	63,160	65,476
繰延税金負債	95,564	95,717
退職給付引当金	25,448	29,409
役員退職慰労引当金	58	65
負ののれん	2,303	3,443
その他	11,355	7,482
負債合計	**451,569**	**447,786**
（純資産の部）		
株主資本	**318,963**	**318,523**
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	209,600	209,605
利益剰余金	85,326	84,895
自己株式	△5,964	△5,976
評価・換算差額等	**△1,511**	**△490**
その他有価証券評価差額金	△1,439	△477
繰延ヘッジ損益	△73	△12
為替換算調整勘定	1	—
新株予約権	**99**	**115**
少数株主持分	**9,229**	**9,093**
純資産合計	**326,780**	**327,242**
負債純資産合計	**778,350**	**775,029**

連結損益計算書

（単位:百万円）

科目	当第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）	前第2四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）
売上高	**455,440**	**466,612**
売上原価	**345,885**	**354,187**
売上総利益	**109,555**	**112,425**
販売費及び一般管理費	**102,312**	**105,069**
営業利益	**7,243**	**7,356**
営業外収益	**3,841**	**3,828**
受取利息	169	137
受取配当金	301	321
債務勘定整理益	1,708	1,708
負ののれん償却額	1,145	1,159
持分法による投資利益	—	123
その他	515	377
営業外費用	**3,373**	**2,966**
支払利息	779	889
固定資産除却損	191	113
商品券等回収損失引当金繰入額	1,875	1,579
持分法による投資損失	152	—
その他	375	384
経常利益	**7,710**	**8,217**
特別利益	**344**	**455**
固定資産売却益	—	455
投資有価証券売却益	24	—
事業整理損失引当金戻入額	320	—
特別損失	**4,235**	**3,048**
固定資産処分損	309	1,407
投資有価証券売却損	3	—
投資有価証券評価損	1,204	811
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,254	—
事業構造改善費用	—	702
その他	462	126
税金等調整前四半期純利益	**3,819**	**5,624**
法人税、住民税及び事業税	1,484	1,759
法人税等調整額	△188	△58
法人税等合計	1,296	1,701
少数株主損益調整前四半期純利益	2,523	—
少数株主利益	240	252
四半期純利益	**2,282**	**3,671**

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科目	当第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）	前第2四半期連結累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,881	8,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,082	△4,339
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,479	△16,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△30
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,720	△12,620
現金及び現金同等物の期首残高	33,204	43,515
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,484	30,895

Point 連結貸借対照表

当第2四半期末の「資産合計」は7,783億50百万円で、主に大丸梅田店増床に伴う固定資産の増加などにより、前期末に比べ33億21百万円の増加となりました。

また、「純資産合計」は3,267億80百万円で、株主資本は増加しましたが、評価・換算差額等が悪化したことにより前期末に比べ4億62百万円減少し、自己資本比率は前期末に比べ0.2ポイント低下の40.8%となりました。

Point 連結損益計算書

連結売上高は、4,554億40百万円で、東日本大震災の影響などにより前年同期に比べ2.4%の減収となり、販売費及び一般管理費を2.6%削減したものの、営業利益は1.5%の減益となりました。

また、四半期純利益は、「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」22億54百万円を特別損失に計上したことなどにより37.8%の減益となりました。

Point 連結キャッシュ・フロー計算書

○営業活動によるキャッシュ・フロー

未払金等の支払いが減少したことなどにより、前年同期に比べ54億94百万円増加の138億81百万円の収入となりました。

○投資活動によるキャッシュ・フロー

大丸梅田店増床による固定資産の取得やスタイリングライフ・ホールディングス株式の取得などにより、270億82百万円の支出となりました。

○財務活動によるキャッシュ・フロー

コマーシャル・ペーパーの発行などにより、74億79百万円の収入となりました。

大丸ミュージアムKOBE　大丸神戸店9階

Event Schedule
イベント　スケジュール

大丸・松坂屋各店の主なイベント

大丸・松坂屋の各店では各種イベントを開催し
日常とは違った空間を演出することにより
お買い物とはまた違った楽しみを
皆さまにご提供いたします。

松坂屋美術館　松坂屋名古屋店南館7階

今後の展覧会スケジュール

2011年12月

日中国交正常化40周年記念
地上の天宮 北京・故宮博物院展
（松坂屋美術館）
12月3日（土）～1月22日（日）

《孝賢純皇后朝服像》
軸／乾隆帝皇后の肖像
清・乾隆年間
北京・故宮博物院蔵

2012年

1月

第56回 現代書道二十人展
（松坂屋上野店　本館6階催事場）
1月2日（月）～1月8日（日）

第45回 現代京都書作家展
（大丸ミュージアムKYOTO（大丸京都店6階））
1月18日（水）～1月23日（月）

スージー・ズーの世界展
～いつまでもともだち Friends Forever～
（大丸ミュージアムKOBE（大丸神戸店9階））
1月18日（水）～1月30日（月）

第56回 現代書道二十人展
（松坂屋美術館）
1月28日（土）～2月5日（日）

2月

生誕100年記念 伊藤清永展 ～華麗なる女性美の表現～
（松坂屋美術館）
2月8日（水）～2月26日（日）

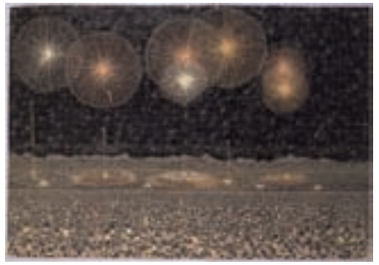
3月

いけばな女性作家展
（大丸心斎橋店　本館7階会場）
3月1日（木）～3月6日（火）

ベニシアと仲間たち展（仮称）
～京都大原に住むベニシア・スタンリー・スミスの手作り暮らし～
（大丸ミュージアムKOBE（大丸神戸店9階））
3月1日（木）～3月12日（月）

メアリー・ブレア 人生の選択、母のしごと。
（松坂屋美術館）
3月3日（土）～4月8日（日）

生誕90周年記念 山下 清展
（大丸心斎橋店　北館14階イベントホール）
3月8日（木）～3月20日（火・祝）



《生誕90周年記念 山下 清展》「長岡の花火」ⓒ清美社

蜷川実花「月刊MEN向井理」展
（大丸ミュージアムKOBE（大丸神戸店9階））
3月28日（水）～4月9日（月）

4月

第63回華道京展
（大丸ミュージアムKYOTO（大丸京都店6階））
4月5日（木）～4月10日（火）

第67回 春の院展
（松坂屋美術館）
4月14日（土）～4月22日（日）

生誕250周年記念
「北斎 － 人と芸術展」（仮称）
（松坂屋美術館）
4月28日（土）～5月22日（火）

《北斎 － 人と芸術展》（仮称）冨嶽三十六景 凱風快晴

5月

第47回日春展（日展日本画部春季展）※入場無料
（大丸心斎橋店　北館14階イベントホール・劇場）
5月予定（会期未定）

第47回日春展（日展日本画部春季展）
（松坂屋美術館）
5月26日（土）～6月3日（日）

ホームページのご案内

大　丸　http://www.daimaru.co.jp/museum/index.html
松坂屋　http://www.matsuzakaya.co.jp/　から各店のイベントカレンダーをご覧ください。

※松坂屋美術館の展覧会情報は専用ホームページをご覧ください。
http://www.matsuzakaya.co.jp/museum/museum.html

※上記はいずれも予定です。

展覧会名称・会期・会場などは変更する場合がございます。

Topics トピックス

大丸札幌店「うふふガールズ」が好評

ufufugirls♥ うふふガールズ

本年3月、大丸札幌店2階婦人服売場にオープンした、20～30代女性向けスペシャリティゾーン「うふふガールズ」が好調です。「うふふガールズ」は、大丸心斎橋店、松坂屋銀座店など6店に拡大しました。

大丸札幌店「うふふガールズ」は、「スイートカジュアル」と「クールエレガンス」をテーマにおしゃれに敏感なお客様向けの13ショップを集めました。さらに9月には、寝室周りのアイテムを提案する期間限定ショップ「リズリサ シャンブラクーシェ」、“スマートエレガンス”な新しいコンサバスタイルがテーマの「トランテアン ソン ドゥ モード」がオープンしました。

また、「うふふガールズ」ではホームページやツイッターなどを活用し、ショップの最新情報を動画や写真で発信するなど新しい取り組みも行っています。

大丸札幌店の「うふふガールズ」

NEW OPEN BRAND

●リズリサ シャンブラクーシェ

9/1オープン 期間限定

ピンクを基調にしたベッドファブリックをはじめルームウェア、ビューティグッズなど人気の ＜リズリサ＞ の雑貨を中心に取り揃えました。

●トランテアン ソン ドゥ モード

9/14オープン

“スマートエレガンス” な新しいコンサバスタイルがテーマ。キレイを目指すすべての女性へ発信します。

「秋のサンクスフェスティバル」を開催

大丸松坂屋百貨店は、恒例の「秋のサンクスフェスティバル」を9月14日から3週間開催しました。

今回は、幅広い世代に人気のキャラクター「バーバパパ」を広告、景品などに採用。また、ご好評の「総額1億円大抽選会」に加え、環境保全や社会貢献につながる「エシカル」視点の企画を実施しました。

国内外で活躍するクリエーターがデザインしたシューズの売上の一部や、ガチャガチャマシンで楽しんでいただきながら、回収したコインの枚数に応じた金額を寄付する企画を実施したほか、発展途上国の就業の場拡大に寄与するフェアトレード商品をプレゼントするなど幅広く取り組みました。

「秋のサンクスフェスティバル」ポスター

博多大丸長崎店閉店セールに66万人がご来店

66万人のお客様が別れを惜しまれた博多大丸長崎店の閉店セール

博多大丸長崎店は、7月31日、157年の歴史に幕を閉じました。長崎店の前身は、1854年創業の交易商、徳島屋。1903年に現在地に移転し、1934年に長崎最初の百貨店となる岡政百貨店となりました。1988年に当社グループに加わり、「長崎大丸」「博多大丸長崎店」として地域の皆さまに親しまれてきました。

5月下旬からの閉店セールには、66万人のお客様がご来店。両手に大丸の紙袋を提げたお客様、馴染みの販売員と談笑するお客様の姿も多く見られ、歴史ある店との別れを惜しまれていました。

Topics トピックス

通販事業を「JFRオンライン」に統合

当社グループは、本年3月、今後成長性が見込める通信販売事業の拡大と経営資源の集中化による効率化を図るため、大丸松坂屋百貨店の同事業の一部を子会社の大丸ホームショッピングに集約し、社名を「JFRオンライン」に変更しました。

新たなスタートにあたり、カタログ通販では「大丸・松坂屋通信販売カタログ」を刷新。ウェブ通販では事業基盤強化のため、化粧品サイト「マルコレ」のリニューアルを実施、6月には「マルコレモバイルサイト」をオープンしました。

「JFRオンライン」のサイト

リニューアルした「マルコレ」サイト

カタログも装いを新たに

「スタイリングライフ・ホールディングス」を持分法適用関連会社に

「PLAZA」心斎橋大丸店

当社は、本年3月、株式会社スタイリングライフ・ホールディングスの株式を取得し、持分法適用関連会社としました。同社は「PLAZA」ブランドで若い女性に支持される雑貨小売業をはじめ、化粧品の製造販売業、通信販売業、飲食・菓子製造販売業という4つの事業を展開しており、当社グループの店舗にも出店しています。

当社グループとは異なる長所を持つ同社との連携を深めることで、売場編集力の向上や若年顧客層の拡大などを通じ、主力の百貨店事業の競争力強化を図っていきます。

J.フロントリテイリンググループ 東日本大震災被災者の皆さまへの支援活動

店頭義援金募金、物資支援、被災地産品の販売、ボランティア活動など、引き続き支援活動を実施

当社グループは、被災された皆さまに対し、緊急支援として、義援金を寄贈するとともに、毛布、マスク、日用品等の支援物資をお届けしました。さらに、店頭募金活動を行い、義援金2,878万円を日本赤十字社を通じて被災地にお届けしたほか、被災者ニーズに基づいた支援活動を行っています。

妊産婦さんなどへの物資支援活動

大丸松坂屋百貨店は、5月に岩手県、宮城県、福島県の妊産婦さんへ肌着やマタニティウェア等1,500点及び赤ちゃんのミルク用として最適なミネラルウォーター1,200本を、NGO団体ジョイセフを通じてお届けしました。

宮城県助産師会の皆さま

大丸東京店では、“がんばろう東日本!応援ラッピングツール(義援金付き)”を販売中

4月27日から、「応援ラッピングツール」を販売、売上の一部を日本赤十字社を通じて被災地に寄付する支援活動を実施しています。

震災以降、被災地のために何か役立つことがしたいという社会貢献意識が高まり、義援金付きであることを理由に、お選びいただくお客様も多くいらっしゃいます。

がんばろう東日本!
応援ラッピングツール(大丸東京店)
Lサイズ 税込500円　Mサイズ 税込350円

大丸松坂屋百貨店の従業員が震災の災害救援ボランティアに参加

大丸松坂屋百貨店は、ボランティア休暇制度を新設し、東日本大震災の被災地でのボランティア活動を積極的に支援しています。この制度を利用した従業員が被災家屋の清掃などの支援活動を行っています。

被災地でボランティア活動に取り組む
大丸松坂屋百貨店の従業員

CSR JFRの社会貢献活動

環境と人にやさしい百貨店を目指して 節電生活応援フェアを各店で開催

大丸松坂屋百貨店では、小売活動を通じて環境にやさしいライフスタイル提案を推進しています。
電力不足が叫ばれたこの夏には、節電をしながら夏を快適に過ごすための提案を行い、皆さまのニーズにお応えしました。

「世代別最新クールビズスタイル」を提案

大丸松坂屋百貨店はこの夏、快適かつセンス良く着こなせる進化したクールビズスタイル、「ウルトラクールビズ」を提案しました。

環境省が提唱する「スーパークールビズ」のキックオフイベント「SUPER COOL BIZ 2011」に参加し、当社が提案する「ウルトラクールビズ」スタイルを紹介。さらに、当社の役員・従業員がモデルとなり、涼しく過ごせる機能性とビジネスシーンにも対応できるファッション性を兼ね備えた世代別「ウルトラクールビズ」スタイルを、ホームページや新聞広告で提案しました。

役員・従業員がモデルを務めた
世代別「ウルトラクールビズ」スタイルの提案

暑い夏を快適に過ごす提案を続々と 大丸東京店では節電生活応援フェア、 松坂屋静岡店では+ECOな快適サマーフェア

大丸東京店では6月15日から、「節電生活応援フェア」と銘打ち、暑さ対策商品の品揃えを昨夏のおよそ5倍に拡大。“ウルトラクールビズ”で訴求したビズポロの売れ行きが好調だったほか、保冷機能付きのストール、触れると冷たく感じる素材を使った寝具・パジャマなどが人気を集めました。

食品売場でも、ひんやり冷たいメニューを中心とした『食べるクールビズ』などが話題を呼びました。

また、松坂屋静岡店では、「復興アクションで応援しよう+ECOな快適サマーフェア」を企画。父の日に合わせた「私の父はエコメン」や「エアコンに頼らずエコライフ：涼感寝具特集」など、全館で提案しました。

大丸東京店の
紳士服売場

松坂屋静岡店で行われた
「復興アクション」

節電、屋上緑化、廃棄物の削減など、 環境保全活動を推進

当社グループでは、21世紀が目指す「持続可能な社会」の形成に向けて、地球環境の保全に取り組んでいます。

LED照明で省エネを推進
都内3店で大幅な節電

大丸松坂屋百貨店では、環境に優しいLED照明を昨年から計画的に採用しています。

大丸東京店、松坂屋上野店、松坂屋銀座店の3店では、7月からの電気使用量制限の義務化にあたり計画を前倒しし、店内照明の約2万灯をLED化。今夏の3店合計の電気使用量は昨夏に対し20%を超える節電となりました。また、大丸梅田店でも、今春の増床時に全フロアでLED照明を採用し、「天井照明のALL LED化を多数のフロアで実現した業界初の百貨店」として、環境省の「平成22年省エネ照明デザインアワード」でグランプリを受賞しました。

全フロアでLED照明を採用した大丸梅田店

包装資材使用量の削減に向けて オリジナルエコバッグを販売中

大丸松坂屋百貨店では、「カーボンオフセット付き」オリジナルエコバッグを販売しています。このエコバッグは、1枚につき、50円が温室効果ガスの排出権の購入に充てられ、約14kgのCO_2削減を見込んでいます。

また、ピーコックストアにおいても、レジ袋削減に向けエコバッグを販売し、マイバッグご持参のご協力を呼びかけています。

・税込価格 各500円
・黒とベージュの2色
・ペットボトル再生ポリエステル100%使用

1周年を迎えた 「ソラテラス」で 緑化イベントを開催
緑のカーテンで夏を涼しく

松坂屋名古屋店の屋上緑化庭園「ソラテラス」は、ユニット式の水耕栽培システムを採用した新しいタイプの屋上庭園です。約100種類のバラをはじめハーブや野菜、四季折々の草花などが栽培され、オープン以来、地域の方々にやすらぎの場としてご利用いただいています。

6月には、「我が家のクールプロジェクト 緑のカーテンで夏を涼しく!」と銘打ち、「緑のカーテン」をつくるワークショップを開催しました。

今後も緑化をテーマに様々なイベントを企画していきます。

「緑のカーテン」をつくるワークショップ

関西

1 大丸心斎橋店
〒542-8501
大阪市中央区心斎橋筋一丁目7番1号
TEL：(06) 6271-1231

2 大丸梅田店
〒530-8202
大阪市北区梅田三丁目1番1号
TEL：(06) 6343-1231

3 大丸京都店
〒600-8511
京都市下京区四条通高倉西入立売西町79番地
TEL：(075) 211-8111

4 大丸神戸店
〒650-0037
神戸市中央区明石町40番地
TEL：(078) 331-8121

5 松坂屋高槻店
〒569-8522
大阪府高槻市
紺屋町2番1号
TEL：(072) 682-1111

6 大丸山科店
〒607-8080
京都市山科区
竹鼻竹ノ街道町91番地
TEL：(075) 255-7365

7 大丸新長田店
〒653-0038
神戸市長田区
若松町五丁目5番1号
TEL：(078) 643-2951

8 大丸須磨店
〒654-0154
神戸市須磨区
中落合二丁目2番4号
TEL：(078) 791-3111

9 大丸芦屋店
〒659-0093
芦屋市船戸町1番31号
TEL：(0797) 34-2111

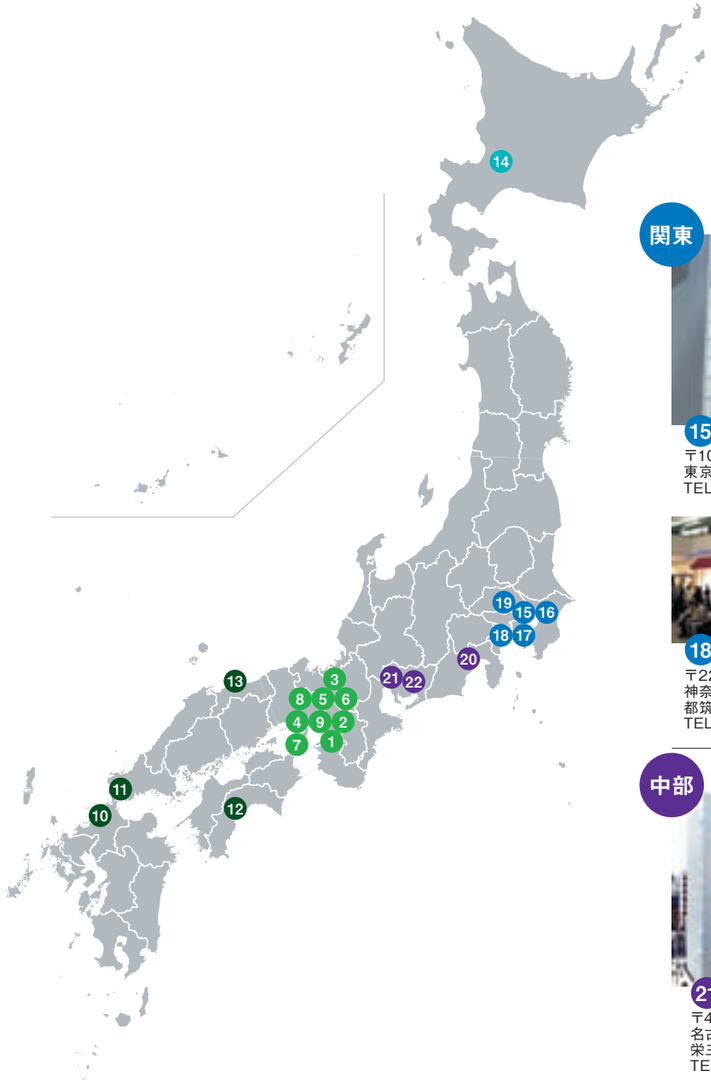
中国 四国 九州

10 株式会社 博多大丸
福岡天神店

11 株式会社 下関大丸

12 株式会社 高知大丸

13 株式会社 鳥取大丸



JFR network ネットワーク

北海道

14 大丸札幌店
〒060-0005
札幌市中央区北五条西四丁目7番地
TEL：(011) 828-1111

関東

15 大丸東京店
〒100-6701
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
TEL：(03) 3212-8011

16 松坂屋上野店
〒110-8503
東京都台東区上野三丁目29番5号
TEL：(03) 3832-1111

17 松坂屋銀座店
〒104-8166
東京都中央区銀座六丁目10番1号
TEL：(03) 3572-1111

18 大丸らら ぽーと横浜店
〒224-0053
神奈川県横浜市
都筑区池辺町4035-1
TEL：(045) 287-5000

19 大丸浦和パルコ店
〒330-0055
埼玉県さいたま市
浦和区東高砂町11番1号
TEL：(048) 615-6000

20 松坂屋静岡店
〒420-8560
静岡市葵区御幸町10番地の2
TEL：(054) 254-1111

中部

21 松坂屋名古屋店
〒460-8430
名古屋市中区
栄三丁目16番1号
TEL：(052) 251-1111

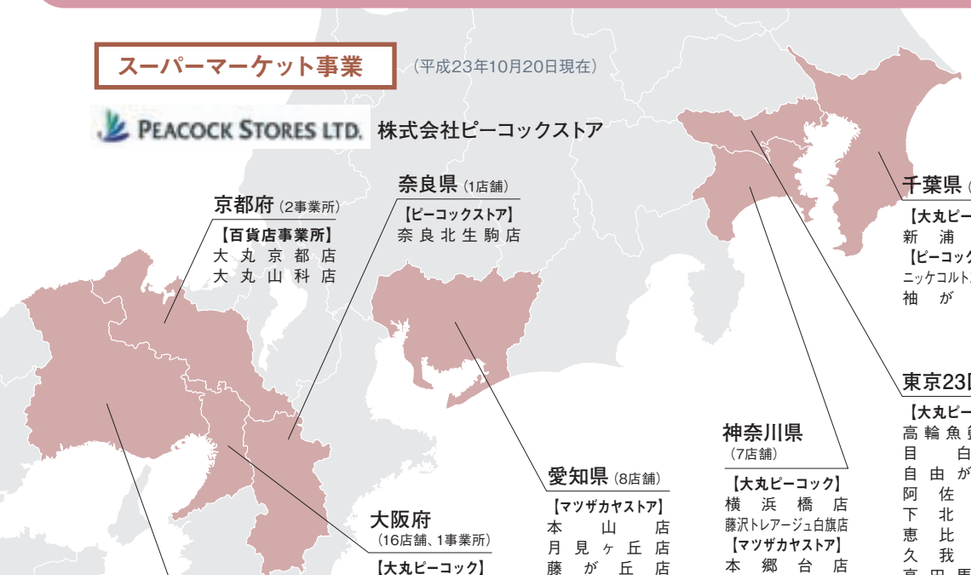
22 松坂屋豊田店
〒471-8560
愛知県豊田市
西町六丁目85番地1
TEL：(0565) 37-1111

JFR network ネットワーク

スーパーマーケット事業

（平成23年10月20日現在）

株式会社ピーコックストア



京都府（2事業所）
【百貨店事業所】
大丸京都店
大丸山科店

奈良県（1店舗）
【ピーコックストア】
奈良北生駒店

兵庫県
（11店舗、2事業所）
【大丸ピーコック】
明舞店
狩場台店
甲子園店
甲東園店
武庫之荘店
甲南店
芦屋川西店
宝塚中山店
新神戸店
【ピーコックストア】
高倉台店
芦屋南宮店
【百貨店事業所】
大丸須磨店
大丸芦屋店

大阪府
（16店舗、1事業所）
【大丸ピーコック】
千里大丸プラザ
津雲台店
北千里店
松が丘店
塚原店
星田店
千里南町プラザ店
山田店
千里山店
箕面桜ヶ丘店
箕面外院店
西梅田店
新千里西町店
堂島クロスウォーク店
【ピーコックストア】
香里ヶ丘店
泉北晴美台店
【百貨店事業所】
大丸心斎橋店

愛知県（8店舗）
【マツザカヤストア】
本山店
月見ヶ丘店
藤が丘店
菱野店
本郷店
平針店
三好店
千代田店

神奈川県
（7店舗）
【大丸ピーコック】
横浜橋店
藤沢トレアージュ白旗店
【マツザカヤストア】
本郷台店
磯子店
【ピーコックストア】
洋光台店
白楽六角橋店
藤沢オーパ店

ピーコックストア青山店

千葉県（4店舗）
【大丸ピーコック】
新浦安店
【ピーコックストア】
ニッケコルトンプラザ店
袖が浦店
【マツザカヤストア】
豊四季店

東京23区（32店舗、1事業所）
【大丸ピーコック】
高輪魚籃坂店
目白店
自由が丘店
阿佐谷店
下北澤店
恵比寿店
久我山店
高田馬場店
麻布十番店
井荻店
経堂店
都立家政店
桜新町店
文京グリーンコート店
三田伊皿子店
石川台店
三軒茶屋の杜店
トルナーレ日本橋浜町店
代官山ピーコック
芝浦アイランド店
神田妻恋坂店
【マツザカヤストア】
竹の塚店
恵比寿南店
高島平店
大島店
【エクセ ピーコック】
グランデュオ蒲田店
【ピーコックストア】
上池袋店
グランパーク田町店
上池台店
高野台店
青山店
@中野マルイ
【百貨店事業所】
大丸東京ストア

東京市部（5店舗）
【大丸ピーコック】
国立さくら通り店
東小金井店
玉川上水店
花小金井店
国立弁天通り店

その他の事業

（平成23年10月20日現在）

大丸興業株式会社
株式会社**J.フロント建装**
JFRカード株式会社
株式会社**JFRオンライン**
株式会社**ディンプル**
株式会社**J.フロントフーズ**
株式会社**大丸コム開発**
株式会社**消費科学研究所**
株式会社**JFR情報センター**
株式会社**JFRオフィスサポート**
株式会社**JFRサービス**
株式会社**JFRコンサルティング**
株式会社**セントラルパークビル**
株式会社**エンゼルパーク**
株式会社**大丸松坂屋友の会**

会社の概要

（平成23年10月20日現在）

商　　号：J.フロント リテイリング株式会社
本社所在地：東京都中央区銀座六丁目10番1号
設　　立：平成19年9月3日
事業内容：百貨店業等の事業を行う子会社及びグループ会社の経営計画・管理並びにそれに付帯する業務

資本金：300億円
発行可能株式総数：2,000,000,000株
発行済株式の総数：536,238,328株

役　　員

取締役会長（代表取締役）兼最高経営責任者	奥田　務	株式会社大阪証券取引所社外取締役 株式会社りそなホールディングス社外取締役
取締役社長（代表取締役）	茶村　俊一	
取締役	山本　良一	株式会社大丸松坂屋百貨店代表取締役社長
取締役 兼常務執行役員	塚田　博人	経営計画事業統括部長
取締役 兼常務執行役員	林　俊保	業務統括部長 株式会社白洋舎社外取締役
取締役	髙山　剛	大同特殊鋼株式会社相談役
取締役	竹内　功夫	オーミケンシ株式会社社外取締役
監査役	鶴田　六郎	弁護士 駿河台大学法科大学院教授 帝国ピストンリング株式会社社外取締役 株式会社三菱ケミカルホールディングス社外監査役
監査役	野村　明雄	大阪瓦斯株式会社相談役 塩野義製薬株式会社社外取締役 株式会社ロイヤルホテル社外取締役
監査役	夏目　和良	中部日本放送株式会社代表取締役会長
監査役（常勤）	荒井　健治	
監査役（常勤）	西浜　確	

（注）1.取締役髙山剛、竹内功夫の両氏は、社外取締役であります。
2.監査役鶴田六郎、野村明雄、夏目和良の3氏は、社外監査役であります。

執行役員	斎藤　賀大	経営計画事業統括部部長経営企画担当
執行役員	阪下　正敏	経営計画事業統括部部長グループシステム戦略担当 兼株式会社大丸松坂屋百貨店執行役員業務本部システム企画部長 兼株式会社JFR情報センター代表取締役社長
執行役員	松田　伸治	経営計画事業統括部部長開発事業担当
執行役員	清水三樹夫	経営計画事業統括部部長関連事業担当
執行役員	平山誠一郎	経営計画事業統括部グループ組織要員政策担当 兼株式会社大丸松坂屋百貨店執行役員業務本部人事部長
執行役員	小澤　雅	業務統括部財務部長
執行役員	樋口　雅一	株式会社ピーコックストア代表取締役社長
執行役員	榎本　朋彦	株式会社JFRオンライン代表取締役社長

株式情報・株主メモ

（平成23年8月31日現在）

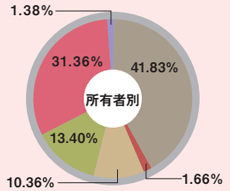
株式の状況

発行可能株式総数	2,000,000,000株
発行済株式の総数	536,238,328株
株主数	73,237名

大株主		所有株数（千株）	持株比率（%）
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	38,822	7.34
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	34,476	6.51
3	日本生命保険相互会社	28,906	5.46
4	J.フロント リテイリング 共栄持株会	14,581	2.75
5	株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	14,291	2.70
6	第一生命保険株式会社	11,564	2.18
7	東京海上日動火災保険株式会社	8,369	1.58
8	J.フロント リテイリング 従業員持株会	7,763	1.46
9	ラボバンクネダーランド東京支店	7,150	1.35
10	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口）	6,409	1.21

（注）持株比率は、自己株式（7,424千株）を控除して計算しております。

所有者別分布状況	株主数（名）	株式数（千株）	百分率（%）
政府・地方公共団体	0	0	0.00
金融機関	80	224,329	41.83
金融商品取引業者	48	8,897	1.66
その他の法人	836	55,577	10.36
外国法人等	347	71,861	13.40
個人・その他	71,925	168,148	31.36
自己名義株式	1	7,424	1.38



剰余金の配当の基準日：期末2月末日　中間8月31日
定時株主総会の基準日：2月末日
定時株主総会：5月中に開催
公告方法：電子公告をもって行います。ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
（登記ホームページ　http://www.j-front-retailing.com/）

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号
（電話料無料）（0120）232-711

（ご注意）
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

当社ホームページアドレス：http://www.j-front-retailing.com/
より詳細な開示情報や最新の企業情報をご覧いただくことができます。

株主様ご優待制度のご案内

J.フロント リテイリング株式会社は、毎年2月末日現在で1,000株以上ご所有の株主の皆さまに対し、（株）大丸松坂屋百貨店および関係百貨店（全国22店舗）でご利用いただける「J.フロント リテイリング株主様 お買い物ご優待カード」を5月中に発行いたします。

なお、毎年8月31日現在の新規株主の皆さまには、ご利用限度額を下表の半額に設定して11月中に発行いたします。（有効期限は翌年5月31日まで）

優待01 現金によるお買物が10%OFF!

ただし、税込1,000円未満のお買物については割引いたしません。また、一部割引対象外の商品がございます。

ご利用限度額（毎年6月1日から翌年5月31日まで）

2月末ご所有株式数	ご利用限度額（税込値札価格）
1,000株以上 3,000株未満	100万円
3,000株以上10,000株未満	単元株数（1,000株）ごとに50万円ずつ加算
10,000株以上	500万円（上限）

優待02 大丸・松坂屋の各店ミュージアムなどに無料入場!

本カードのご提示により、ご本人およびご同伴者1名様に限り、（株）大丸松坂屋百貨店の有料文化催事へ無料でご入場いただけます。

（博多（福岡天神）・下関・高知・鳥取の各大丸の有料文化催事には適用されません。）

ご利用上のご注意

1.本カードは、お買い上げ時に売場係員にご提出いただきますと、以下の（株）大丸松坂屋百貨店および関係百貨店における税込1,000円以上の現金による値札価格でのお買物に限り、上記のご利用限度額の範囲内でその10%を割引いたします。（ただし、フォーエバー21は5%割引）

（株）大丸松坂屋百貨店
大丸心斎橋店、大丸梅田店、大丸東京店、大丸らら ぽーと横浜店、大丸浦和パルコ店、大丸京都店、大丸山科店、大丸神戸店、大丸新長田店、大丸須磨店、大丸芦屋店、大丸札幌店、松坂屋名古屋店、松坂屋豊田店、松坂屋高槻店、松坂屋上野店、松坂屋銀座店、松坂屋静岡店
（株）博多大丸（福岡天神店）、（株）下関大丸、（株）高知大丸、（株）鳥取大丸

2.本カードは、全国百貨店共通商品券（日本百貨店協会加盟店発行分）、百貨店ギフトカード、（株）大丸松坂屋百貨店および関係百貨店が独自に発行する商品券・ギフトカード・商品お取替え券・友の会カードの通用店でのお買物に限り、現金によるお買物と同様にご利用いただけます。なお、他社発行クレジットギフト券によるお買物につきましては、（株）大丸松坂屋百貨店、（株）博多大丸および（株）下関大丸でのご利用時のみ、現金によるお買物と同様にご利用いただけます。
（その他の商品券、お買物券、商品お引換券、デビットカード等によるお買物にはご利用いただけませんのでご注意ください。）

3.本カードは、（株）大丸松坂屋百貨店および関係百貨店のお得意様口座、各種クレジットカード、通信販売・代金引換によるお買物およびそのご入金にはご利用いただけません。
4.本カードは、（株）大丸松坂屋百貨店および関係百貨店の他のお買物優待券、お買物優待制度、他の割引およびポイント付与制度との併用はできません。
5.本カードは、次のものについては割引いたしません。
生鮮食品（海産物・精肉・青果）、書籍・CD類、たばこ、切手・印紙類、商品券類、各種商品引換券・ギフト券類、金・白金・銀の地金、貨幣類、各種送料・箱代・修理代、レストラン・喫茶、理容・美容室・エステティックなどの施術サービス、旅行代金、その他（ルイヴィトン、ティファニー、ブルガリ、カルティエ、エルメス、ロエベ、シャネル、東急ハンズ、ユニクロなど）特に各社が指定したもの。
※なお、（株）博多大丸、（株）下関大丸、（株）高知大丸および（株）鳥取大丸では、上記に加え、「特価商品、食料品全般」については割引いたしません。
6.本カードは、他人に譲渡、売買、貸与等をされた場合は無効といたします。本カードは紛失されても再発行いたしません。また、法人株主様の他のご名義への分割書換発行はできませんので、なにとぞご了承くださいませ。